

かたる。

熊本政治を、かたる。
熊本政治に、かたる。

内田ゼミ

presented by member

- | | | |
|------|------|------|
| 安藤仁美 | 伊藤学 | 菅野美咲 |
| 長森健太 | 大西貴光 | 松原美鈴 |
| 花生遊砂 | 奥野楓 | 松本太郎 |
| 槇健輔 | 尾崎桃子 | |

現状と課題

【現状】

熊本県の20代2014年衆議院総選挙の投票率28%
→若者の意見が反映されづらく、暮らしにくい社会になっているのでは？

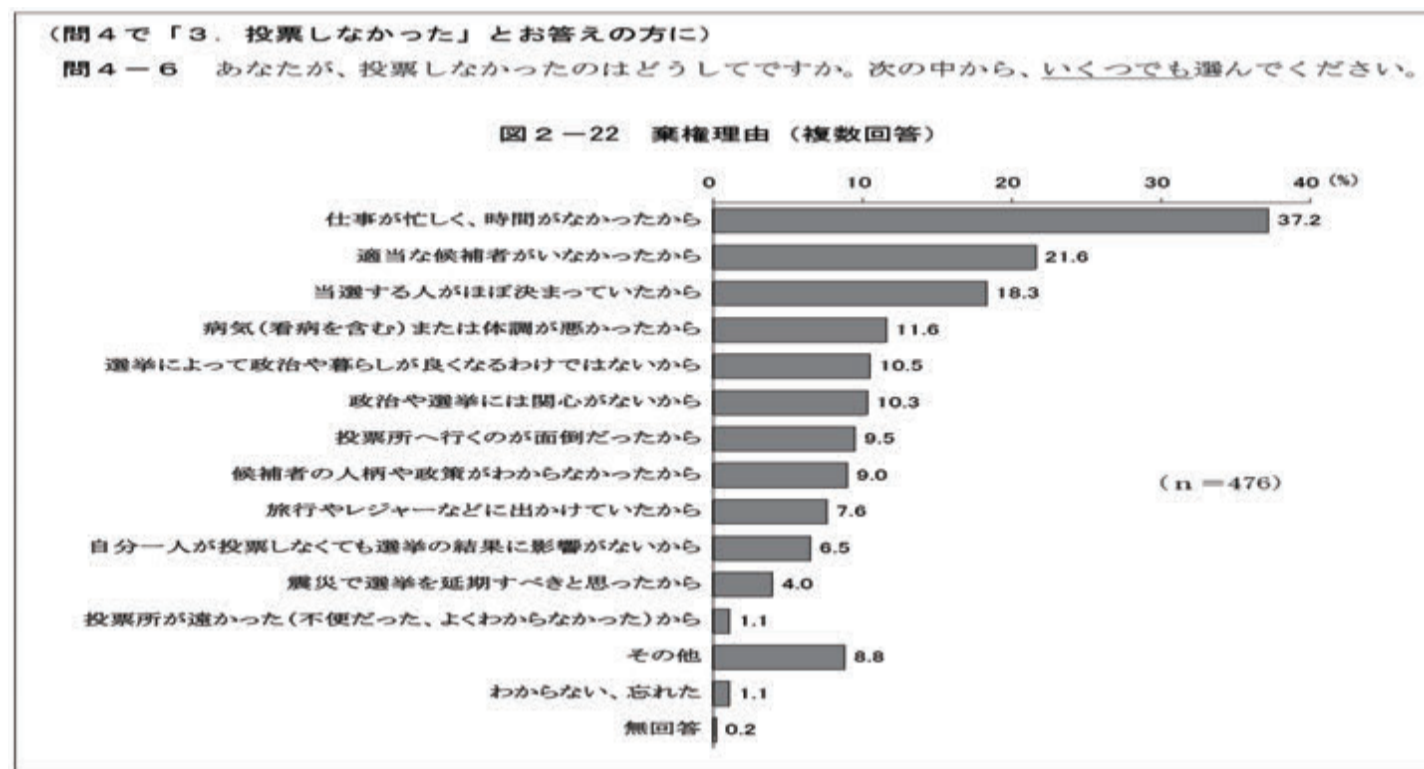
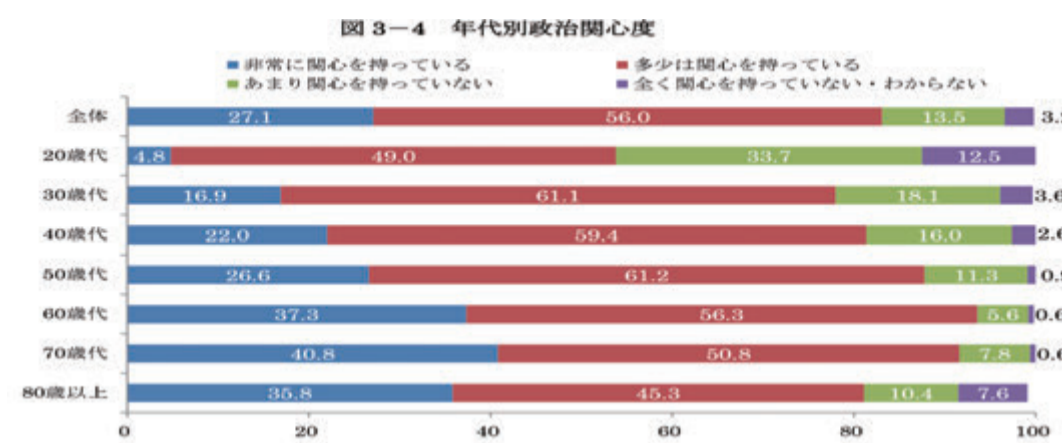
年齢	投票率(%)		
	男	女	計
20～24小計	29.12	28.02	28.57
25～29小計	26.32	30.90	28.53
30～34小計	32.62	34.19	33.40
35～39小計	37.55	44.94	41.35
40～44小計	43.13	43.46	43.30
45～49小計	50.23	53.03	51.77
50～54小計	59.92	49.21	54.38
55～59小計	57.43	62.08	59.85
60～64小計	61.29	61.54	61.42
65～69小計	69.26	65.19	67.14
70～74小計	68.33	70.55	69.62
75～79小計	73.64	63.47	68.02
80～小計	47.38	38.32	41.52
合計	51.28	50.34	50.77

【課題】

投票に行かない理由で最も多かったのは『忙しく、行く時間がなかった』
政治に関して関心が多少なりともある人の割合は多い
→参加する意識が低く、優先順位が低下しててのではないか



知識不足の解消、政治に対するハードルの高さを解消し、政治へ積極的に参加するインセンティブを付与することが必要！



提言内容

かたる。

【目的】

仕事などで忙しい若者の政治への理解を深め、関心を持たせること

【内容】

- 1部 - 政治に関する情報

熊本県内の経済、教育・子育て、社会保障などの地元の身近な問題を対立構造やメリットデメリットを用いてわかりやすく記載する。それによって情報収集のコストを下げ、心理的なハードルを下げる。

- 2部 - 政治家に関する情報

立候補者のプロフィールやマニフェストを記載する。マニフェストに関しては、チャートを用いて一目でわかるようにする。具体的には①社会保障②経済政策③雇用④子育て⑤教育⑥環境の6項目について各候補者が独自で持ち点30点を振り分け、自分の思想に近いものにするというものである。



かたるTV。

【目的】

「かたる。」を開かせることによる、熊本政治に対する興味喚起と住民の意見形成

【内容】

熊本政治に特化したクイズ番組。出場者は20～30代の熊本県民からランダムで選出。各地域対抗戦という形式で行われる。

- 地域区分 -

- ①玉名 ②鹿本 ③菊池 ④阿蘇 ⑤熊本市 ⑥宇城 ⑦上益城 ⑧八代 ⑨芦北地 ⑩球磨 ⑪天草 の11地域

- 特性 -

- (1)有識者が問題について端的に解説する場が設けられる
- (2)街頭インタビューの実施により、親しみやすさを出すと同時に意見形成を促す
- (3)リモコンやスマートフォンを用いた視聴者参加型の番組構成にする



期待できる効果

「かたる。」や「かたるTV」をきっかけに政治に興味を持つようになる

若者の政治参加率UP!

若者の意見が反映され、若者にとって暮らしやすい社会の実現

熊本LOVE県民の大量生産によりUターン就職率UP

県外からも若者渡来 (Uターン就職)

県内平均年齢が下がり、活気が溢れる!

